



# “積極進取！”

第 6 号



令和2年7月6日(月)

発行者 校長 上原 源三

## ～生徒諸君！刮目せよ！！～

3日間の学期末テスト、4日(土)は必修模試を終え、生徒のみなさんはホッと一息ついているところでしょう。しかし、大変気になる事がありますのでここでお知らせします。

6月18日(木)に先生方の校内研修がありました。本校が活用している業者テスト「スタディーサポート」の結果を分析し「今後の学習にどう活かしていくか」という内容です。その分析によると現3年生の「英数国」の学習状況はB2(国公立大学合格レベル)以上が183名います。前年度の同学年が120名、2年前の国公立大学118名をだした同学年が123名なので現3年生はかなり好結果を出しています。現2年生はB2以上が261名、前年度同学年が177名、2年前同学年205名で2年生も例年よりもはるかに素晴らしい結果を出しています。現1年生のB2以上は273名、前年度同学年274名、2年前202名です。

ところが家庭(自学)学習状況を見ると3年生の平日35%(ほとんどしない～30分)休日17.7%(同左)。2年生平日70.9%、休日35.7%。1年生平日33.9%、休日24.9%です。この結果にはとても驚かされました。特に2年生の数値は目を疑いたくなる数値で、せっかく力を蓄えてきた努力が水の泡になることが明らかです。生徒諸君はこの結果をどう捉えるのでしょうか。



今回のスタディーサポートはコロナウイルスの影響で各自が自宅で受験しています。時間配分等もある意味本人任せのところがあり、単純に例年との比較はできないかもしれません。しかし、生徒のみなさんは小・中と学力を高め那覇高校に入学してきました。少しの気の緩みが今後の進路に影響し、希望よりも低めの進路になってはいけません。今よりも1時間、30分でもかまいません。家庭・自学学習の在り方を考えましょう。

校長

## ～慰霊祭での誓い！～

今年も慰霊の日に二中健児の塔慰霊祭が行われました。

前号でも触れましたが、今年は慰霊祭の規模縮小のため、遺族代表、二中同期生、城岳同窓会役員、本校職員、本校PTA会長及び生徒代表は遠藤義宗生徒会長のみの参加で行う予定でした。しかし、どうしても参加をしたいというご遺族、同期生、関係者が20名ほど参加しました。

当日は早朝から激しい雨に見舞われ、城岳公園内にある「二中健児の塔」での慰霊祭は取りやめ、急遽本校大講堂で執り行いました。特に「誓いの言葉」を述べた遠藤生徒会長の言葉は参加者の胸を打ちました。また、統一LHR「校歌と沖縄戦」で作成した、本校生徒の一人ひとりの「平和メッセージ」が展示され同窓会やマスコミの方々からたくさんのインタビュー、取材を受けました。

このように規模縮小の中にあっても、関係者及び本校全生徒の心のこもった慰霊祭が執り行われたことに平和への誓いを改にすることができました。

校長

## \*\*\*校長雑感\*\*\*

予備校に通っていた頃、床屋さんに行って「ゴルゴ13みたいにして！」とお願いしたらステキな短髪にしてくれた。友人に会うと「おっ髪切ったな」と気付いてくれたので「ゴルゴ13みたいか？」と聞くと「おまえはゴルゴ31アイスクリームだ」と言われた。自分でも“ゴルゴ13は言い過ぎだな”と思っていたので、友人と二人で爆笑した。



## ～呈茶会に参加！～

那覇高校茶道部による「新入生歓迎呈茶会」が6月22日(月)作法室で行われました。昨年度は「クリスマス呈茶会」に招待してくれたので今回が本校での呈茶会2回目の参加となりました。

今回も外部指導者の裏千家茶道正教授の秦 宗由(はた そうゆう)先生のご指導のもと茶道部の生徒たちがお茶を振る舞ってくれました。厳粛な雰囲気のもと、一つひとつの所作を丁寧に行い素晴らしい茶会になりました。

1年の新入部員が7名入部したということで今後の活動も活発になるだろうと思いました。私自身は“もう少し作法を勉強しなければ”と反省しています。

校長

## ～～～ 時の言葉 ～～～

努力して結果が出ると、自信になる。  
努力せず結果が出ると、傲りになる。  
努力せず結果も出ないと、後悔が残る。  
努力して結果が出ないとしても、経験が残る。(作者不明)

何事においても通じる言葉のように感じます。“努力は報われる”とよく言いますが、必ずしも結果が伴うとは限りません。しかし、努力の過程は本人が一番知っていて、その意味を感じることができます。大切なことは自分が向かいたい場所、在りたい自分に近づくために何を為すべきかだと思います。 校長